定期総会・定期理事会を開催

辻 尚志(当会 理事)

平成31年度の定期総会は、令和元年6月18日(火)の11時10分から、霞山会館の会議室で開催されました。これに先立ち、同日10時30分から14名の理事の出席により、定期理事会も開催されております。

さて、定期総会は、総会員数 154 名中、100 名の出席 (ご本人出席 27 名、委任状による出席 73 名)を得て、冒 頭山下勝男会長から挨拶があり、その後、事務局推薦によ り山下会長が議長となって進められました。

第1号議案は、平成30年度活動報告であり、ごくらくちょう及びメールマガジンの定期的発行、5月のPNG訪問団、8月の長岡花火観覧、そして今年1月の朝霞駐屯地訪問(陸上自衛隊音楽隊支援に対する感謝表明)などが主たる活動として報告されました。

第2号議案では、平成30年度会計報告で、今年度からの会費値上げ、また堀江名誉顧問からの百万円の寄付金などが報告されました。

第3号議案は、平成31年度活動計画案で、TOKTOK会の開催、新しい在京PNG大使の着任と独立記念日のパーティーも開催見込みなどが報告されました。

第4号議案は、平成31年度予算案審議であり、会費値上げにより、収支バランスの取れた予算案となる旨の報告がありました。

議案としては最後の第5号議案では、定款の一部変更が 提案され、事務所住所の表記、目的・事業の変更などが提 案されました。

参加者からは、定款の表現(用語)について、質問・提案がなされ、意見交換のあと、理事会に一任することとしました。また、昨年度の総会でも質問のあった会員名簿の会員間への開示に関して質問があり、事務局からは個人情報保護についても配慮が必要であり、会員にアンケートを進めて検討していく旨の回答がありました。

こうした議論も経て、第1号から第5号までのすべての 議案は承認されております。

他に報告事項として、奨学金、PNG 新首相への交代と新 大使着任見込み、PNG 訪問ツアー、日本からの PNG 直行

便の状況などが説 明されました。

総会は、12時 10分に閉会し、そ の後の懇親会でも 様々な交流・盛見 交換があり、盛会 のうちに終了いた しました。



PNG 閣僚名簿 (2019年6月7日内閣改造後)

首相	ジェームス・マラペ	パング党	矯 正 相	クリス・ナンゴイ	メラネシア同盟党
副首相兼法務相	デイビス・スティーブン	人 民 党	商 業 工 業 相	ウェラ・モリ	人民国民会議
財 務 相	サム・バシル	メラネシア同盟党	保 健・HIV/AIDS 相	エリアス・カパボレ	人民国民会議
金融・地方開発相	チャールズ・エイベル	我 が 開 発 党	政府間関係相	ピラ・ニニンギ	人民民主運動
国家計画モニタリング相	リチャード・マル	人民国民会議	運輸・インフラ相	ウィリアム・サム	パング党
外 務 貿 易 相	ソロイ・エオエ	人民国民会議	民 間 航 空 相	レクワ・グレ	メラネシア同盟党
石 油 相	ケレンゲ・クア	PNG 人 民 党	住宅都市開発相	ジャスティン・トカチェンコ	人民国民会議
国営企業・投資相	サシンドラン・ムツベル	パング党	土 地 計 画 相	ジョン・ロッソ	パング党
ブーゲンビル担当相	プカ・テム	我 が 開 発 党	公共サービス相	ウェスリー・ヌクンジュ	統一資源党
国 防 相	サキ・ソロマ	パング党	労 働 関 係 相	アルフレッド・マナセ	人民国民会議
鉱 業 相	ジョンソン・トゥケ	人民進步党	公 共 事 業 相	マイケル・ナリ	人民国民会議
漁 業 相	リノ・トム	人 民 党	宗教・青年・地域開発相	ワケ・ゴイ	人 民 党
森 林 相	ソラン・ミリシム	パング党	移民国境管理相	ペトルス・トマス	人民国民会議
農業畜産相	ジョン・サイモン	パング党	情報エネルギー相	レインボー・パイタ	パング党
教 育 相	ジョセフ・ヨピヨピ	メラネシア同盟党	観 光 文 化 相	エミル・タムル	人民進步党
高等教育研究科学技術相	ニック・クマン	人民国民会議	環境保全・気候変動相	ジェフリー・カマ	勝利遺産強化党
警 察 相	ブライン・クレイマー	忠 誠 党			

第 15 回 Toktok 会開催のご報告 講師:山口由美氏「パプアニューギニア取材の現場から」 (2019 年 5 月 22 日、於、京都大学東京オフィス)

協会事務局

世界各地に旅をされ執筆活動を行われているノンフィクション 作家の山口由美さんですが、とりわけ思いの深いパプアニューギニアについて、その取材の過程から語っていただきました。テーマは次の3点でした。1点目は太平洋戦争中にセピックで学校を開

いた日本兵、柴田中尉(キャプテンシバタ)と初代首相マイケル・ソマレ氏をめぐる物語について。2点目はパプアニューギニア初で唯一の世界遺産、クック初期農耕遺産の訪問について。3点目は『世界でいちばん石器時代に近い国パプアニューギニア』の出版経緯と黒魔術の取材について。

特にマイケル・ソマレ氏が柴 田氏の影響を受け、教育を受け ることの大切さを知ったことか





ら勉学に励み首相にまでなれたというお話や、また柴田氏が民俗学に造詣が深く、そのことが現地民の価値を認める要因になったお話など、印象深い逸話のご紹介がありました。そして聴講者として参加されていた当時陸軍参謀でおられた堀江正夫氏(当会名誉

顧問)からも、柴田氏の描かれた挿絵が掲載されている第18軍の記録「南十字星」のご披露があり、貴重な資料が回覧されました。また「世界遺産」というネームバリューと地元の無関心さのギャップのお話や、現代にもなお続く「黒魔術」の伝統の恐ろしさのお話等、まだまだ不思議な国パプアニューギニアを軽快な口調で楽しくお話いただきました。

山口 由美(やまぐちゆみ)氏

1962年神奈川県箱根町生まれ。慶應義塾大学法学部法律学科卒。日本旅行作家協会会員。旅行作家、ノンフィクション作家として活動。

2012 年『ユージン・スミス 水俣に捧げた写真家の 1100 日』で小学館ノンフィクション大賞受賞。パプアニューギニアは、足かけ 20 年以上にわたり、取材している。 TBS テレビ「クレイジージャーニー」にも「パプアニューギニアに魅せられた女」として出演。 関連著書としては『世界でいちばん石器時代に近い国 パプアニューギニア』(幻冬舎新書)、『赤道直下の宝箱 パプアニューギニア』(千早書房)がある。

そのほか、『箱根富士屋ホテル物語』(小学館文庫)、『アマン伝説 創業者エイドリアン・ゼッカとリゾート革命』(文藝春秋)、『日 本旅館進化論 星野リゾートと挑戦者たち』(光文社)など、旅 とホテルに関する著書多数。

フライ川流域調査渡航のご報告 京都大学探検部

中土井 洋平太(当会学生会員)

日本・パプアニューギニア協会の皆様、初めましてこんにちは。 京都大学探検部にて学生代表をしております、協会員の中土井洋 平太と申します。我々部員3名は、今回皆様から多大なるご支援を 賜り、パプアニューギニア西部州のフライ川中流域における2ヶ 月間に渡る活動を無事に終えることができましたので、そのご報 告をさせていただきます。

今回我々は、「調査渡航がほとんど行われていない南部低地の内陸エリアに渡航し、資料の乏しい当エリアにおける情報を収集する」という目的を掲げ、西部州の中心都市であるキウンガから、モーター舟にてフライ川を最大 500 キロほど下流に移動し、道中に点在する村々にそれぞれ約一週間ずつ泊まり込んで活動を行う、という計画を立て、渡航いたしました。

しかし今年のフライ川流域は、上流部における雨季の渇水によって、水位がかなり低く、それに伴う燃料代高騰や水路の消失のため、我々は到着早々に計画の変更を余儀なくされるという事態に陥りました。しかし、現地財団である OTDF(Ok Tedi Develop Foundation) 様から燃料や宿の支援を頂きまして、なんとか計画の縮小を最小限に留めることができ、結果として、3つの村において予定通り泊まり込んでの活動を行うことができました。村ごとに大きく異なる農耕様式、言語、慣行などを実際に体感することができ、(移動ルートに関しては図を御参照ください)また実際に現地に赴くことで、地域住人たちの意思に反して高地の人間が行う武器密輸のルートとして当地域が用いられているという現状や、強引な国境線策定が生み出した難民問題、インドネシア国境警備兵による襲撃事件などといった、現在当エリアが直面している諸問題を知ることもできました。

突然の発熱や、行程の変更などといった様々なアクシデントには見舞われましたものの、二ヶ月の計画を通じて三人とも大きな怪我をすることなく計画を遂行でき、本当に良かったと思います。今回無事に帰ってくることが出来ましたのも見ず知らずの我々を快く受け入れてくださったパプアニューギニアの方々、そして準

備にご協力してくださった皆様のおかげと存じております。今回の渡航は、京都大学チャレンジコンテストという学内の学生支援プログラム基づくものではございますが、mont-bell 様を始めとする法人様などからのご支援や、当協会員の皆様などを筆頭に、多くの有識者の方々からのご助言を頂きましたことで、なんとか実現することができました。ご協力していただいた皆様方に、この場をお借りして、厚く御礼を申し上げます。



隊員三人と同行者家族の写真



実際に泊まった家 (Suki にて)



船移動の様子



今回渡航の移動ルート (下線が引かれているのが泊まり込みを行った村です。)

© OpenStreetMap contributors CC BY-SA ライセンスに基づき、地図画像を一 部加工

マラペ新首相表敬訪問 / ODAプレスツアー・イン・西ニューブリテン州

中嶋 敏(駐パプアニューギニア特命全権大使)

【マラペ新首相表敬訪問】

6月11日(火)、ジェームス・マラペ新首相を表敬訪問しました。マラペ首相は、今年5月30日に前オニール首相を継いで首相に就任しました。同首相は、これまで金融大臣を務めていたヘラ州出身で、48歳の若手政治家です。私から、マラペ首相に安倍総理からの首相就任祝いの書簡を手交し、日本として太平洋島嶼地域の安定と繁栄の要となるパプアニューギニアとの協力関係を更に発展させていきたい旨述べました。

マラペ首相は、安倍総理からの祝意に謝意を表明され、こ

れまでの日本からの支 援に対し日本の政府と 国民に心から感謝する、 貿易を含む様々な分野 で日本との協力関係を 強化したい、また、遺 骨収集に引き続き協力 していきたいと述べら れました。



首相府で中嶋大使とマラペ首相

【ODA プレスツアー・イン・西ニューブリテン州】

6月25日~26日、当地メディアのODAプレスツアーとして、新聞・テレビ局から総勢6名のジャーナリストとカメラマンと共に、西ニューブリテン州(ニューブリテン島)を訪問しました。現地では、日本の無償援助(31.6億円)で完成した2橋梁(カピウラ橋とアウム橋)の引き渡し式、JICA青年海外協力隊員の活動等を視察しました。

この2つの橋は、日本の最新技術を用いて西ニューブリテ

ン州と東ニューブリテン州を結ぶ幹線道路上に架けられ、今後長く日本と PNG との友好関係の象徴として、地域住民の安全な通行の確保と経済発展に貢献していくことが期待されます。また、プレス一行は、臨床検査技師の JICA ボランティアが派遣されているキンベ総合病院、算数の先生として JICA ボランティアが派遣されているギゴ・プライマリー学校、そし

て日本の草の根無償援 助で2階建ての校舎を 建てたハエラ・プライ マリー学校を訪問しま した。



けました。視察の様子 カピウラ橋 (PNGで2番目に長い)



て献身的に尽くしてく アウム橋上でのテープカット(左から遠山Jれている」と報じまし ICA所長、ロイ・ムームー運輸省次官、フランシス・マニケ西ニューブリテン州知事、 中嶋大使、サシンドラン・ムトゥベル公営企業大臣、デイビット・ウエレ公共事業省次官)

駐日 PNG 大使館情報

国際防衛ラグビー競技会

2019年9月9日(月) から9月23日(月)まで、防衛省主催の国主催の国主催の国主権の国際防衛ラグビー競技を国産され通じた交流により、深めれ近地が大変流により、では五年の関係を強化し、日本とでの関係を強化し、日本となって取りに組んでいるラグビーワールド





カップ 2019 年日本大会への機運を高めるイベントに、我がパプアニューギニア軍も参加することになりました。つきましては総勢 40 人の監督、コーチ、メンバーの一団が来日致します。ちなみに参加は 2 回目です。

参加国は、フィジー、フランス、オーストラリア、ニュージーランド、ジョージア、韓国、トンガ、英国、パプアニューギニア軍、そして日本は自衛隊の参加となります。

これにより世界各国軍でナンバーワンのラグビーチームが決定致します。

詳細は以下の通りです。

日 時 2019年9月9日(月)から9月23日(月)

場 所 陸上朝霞駐屯地(東京都練馬区) 習志野演習場(千葉県船橋市)

柏の葉公園総合競技場(千葉県柏市)

この競技会により、パプアニューギニア軍を応援しながら、 2019年のワールドカップ日本大会への機運を盛り上げて行きま しょう!



日本・パプアニューギニア協会 法人会員紹介 第56回「みなさん、こんにちは」

株式会社 かもめ (かもめツアー)

〒 105-0003 東京都港区西新橋 1-10-2 住友生命西新橋ビル B1 階 TEL 03-3506-0747 FAX 03-3506-0740 https://www.kamometour.co.jp/

株式会社かもめ(かもめツアー)は1983年に東海大学関 連の旅行会社、東海トラベルビューローの同業他社への卸業 部門として設立し、北欧(フィンランド、デンマーク、ス ウェーデン)、中国、ソ連、東欧を主として扱っておりました が、1990年に大学関連より分離独立し現社名となりました。 その後、フィリピン、中南米 (ペルー、ブラジル、メキシコ、 ボリビアなど)の取り扱いを開始、さらに1997年一般顧客(小 売り部門)の拡大のため顧客サービス課を新設し、社員旅行・ 視察研修旅行・褒賞旅行などの団体旅行を初め、ファミリー や友人等の個人旅行手配を本格的にスタート、現在、小売部 門はメディア販売(通販)事業部に進展し新たに、北米(カ ナダ・アメリカ)、キューバ、ニュージーランド、オースト ラリア、イタリア、パラオを加え、自社ホームページの拡充 を機に多くのお客様にご利用頂いております。

この間、2008年には現地手配のお客様満足度向上を目指 しフィリピンに現地法人「アールスドリームフィリピン」を 設立、2010年には新たに取り組んでいましたパプアニュー ギニアにつきましても、その魅力を日本人の多くの方に伝え るべく「アールスドリーム PNG」を設立しました。中でもパ

プアニューギ ニアに関しま しては、日本・ パプアニュー ギニア協会員 皆様のご支援 を頂き、ご出 張や慰霊、ボ ランティアな ど観光以外で も多くの手配 を承り同国に 関わる数少な い旅行会社と して認知度の 上昇と共に、 多くの大学の 調査研究やテ



取り扱い方面一覧

レビ番組の制作なども増え、多方面に亘り同国との関係強化 に多少貢献出来ているものと思っております。

また、弊社は2016年末にさらなる安定した経営体制を実 現するため、全株式を「株式会社 IBJ (東証一部)」に売却致 しました。同社は東証一部上場企業で60万人以上の会員と、 全国 2,000 を超える結婚相談所を展開する日本最大級の婚活 会社で、弊社でもハネムーンマーケットへの新たな進出が始 まりました。同社のキャッチフレーズは「人と人をつなぐの は人だと思う」です。まさにオンライントラベル全盛の時代 に弊社はこの言葉を基本に"あふれる笑顔と感動の旅づくり に挑戦します"を経営理念として、お客様一人一人のご要望 に応えられる会社を目指しています。

弊社はご案内申し上げましたとおり総合旅行会社です。是 非一度ホームページをご覧頂きパプアニューギニアのみなら ず、他国へのご旅行の際にもご一報頂ければ幸いです。

会員皆様には、今後ともご愛顧の程宜しくお願い申し上げ

https://www.kamometour.co.jp/



会社入口の様子







- ■ホールセール事業部 03-3506-0751
- ■メディア販売事業部(e かも。) 03-3506-0757
- ■ツアープロデュース事業部 03-3506-0747
- ■かもめ&アールスドリーム 03-5251-1431





当社は東証一部上場企業 IBJ のグループ会社です。 (証券コード:6071)

事務局からのお知らせ

「ごくらくちょう64号」の発行が諸般の 事情により大幅に遅れました事をお詫び申し 上げます。

今号では定期総会のご報告、PNG の新閣 僚名簿、第15回 TOKTOK 会のご報告と京

都大学の学生会員によるフライ川調査渡航、 そして在 PNG 日本大使館, 在京 PNG 大使 なったと思います。

今後の協会アクティビティーの予定です が、9月3日(火) に第16回 TOKTOK 会 「山本元帥景仰会による記念講演」、9月25 日(水)に第17回TOKTOK会「大野政義

氏による一 PNG 開発の将来」のご講演を予 定しております。加えて第18回10月30 館からのお知らせと内容はかなり濃いものに 日(水)では、本会名誉顧問 堀江正夫氏に よる特別で講演「大東亜戦争とニューギニア」 を開催予定です。

> 第17回、第18回の詳細は近日発表予定 です。ご期待ください。残暑厳しい日が続き ますが、皆さまご自愛いただきますよう。

本協会は、日本とパプアニューギニアが友好関係を促進し相互理解を深 めることを目的とし、文化、芸術、スポーツ、観光等様々な活動を行っ ております。どうぞ本協会の活動をご理解下さり、ご協力の程をお願い 申し上げます。

会員数 ◆ 法人会員: 28 社 ◆ 個人会員: 125 名 (2019年8月10日現在)

本協会では随時会員を募集しております。お知り合いの方にぜひお声をかけて下さい。

申し込み方法 郵便局の振込取扱票にてお申し込みください。

年 会 費 個人会員6,000円 法人会員60,000円 学生1,000円 PNG人1,000円

会費受付 郵便振替口座をご利用ください。

口座番号 00140-2-277582

加入者名 トクヒ) ニホン パプアニューギニアキョウカイ

お問い合わせ先 日本・パプアニューギニア協会 〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町3-2-12 社会保険労務士会館9階 日本ビジネスライン㈱内 TEL:03-5216-3555 FAX:03-5216-3556 E-mail:info@jpng.or.jp URL:http://www.jpng.or.jp/